

先着30名

OPENING 10.5 AM 11:00~

トドマツの幼木プレゼント

新クリスマスツリーに最適です。

DURING THE EVENT 10.5~10.11

トドマツ家具・雑貨・住環境の展示

10.10 SAT PM 12:00~

トドマツ蒸留アロマオイル抽出体験 (12:00~)

生のトドマツ枝葉から蒸気蒸留によってトドマツオイルを抽出する作業を体験していただきます。

トドマツオイルは森林浴効果以外にも、自動車の排気ガスや家庭でも発生するNO_x(二酸化窒素)を空気中で無害化し、低減させる効果があると言われています。



北海道の森の木 皮むき体験 (15:00~)

間伐されたばかりの生木(地域材の小径木)を昔ながらの木工具“削り馬”を使って、皮むきする作業を体験いただけます。

皮をむくことで、普段触れることのない生の木の感触を体感いただけます。



森のおはなし (16:00~)

北海道の森で働くプロフェッショナルが、トドマツの森を育てる知恵や、さまざまな山仕事、森に生きている野生動物の姿など、四季おりおりの映像とともに、ユーモアを交えてお話しします。講師/NPO もりねっと北海道 山本 牧 氏



親子でものりねっと体験/作り出した間伐材は、自宅に持って本物のクリスマスツリーにします
主催/NPO もりねっと北海道

上記、体験イベントは先着予約制で体験20名程度で締め切らせていただきます。

ご予約は上川地域水平連携協議会(Tel.0166-75-3553)

までお電話にてお願いいたします。

私たちの目指すもの

旭川は家具の産地として古くから有名ですが、従来目録名余りの家具メーカーから、一人で活動されている工房まで、大小様々な生産者があり、それを支える原木市、製材工場、教育機関、試験研究機関などが充実していることも特徴です。従来、家具やクラフトに使われる原料のほとんどが広葉樹であり、トドマツなど針葉樹を使った家具やクラフトは、ほぼ皆無でした。戦後に植林された人工林の樹木も太くなり、品質が安定してきたことから、業界に働きかけをしている最中です。



上川地域水平連携協議会 会長

関口 洋平

我々の最初の取り組みは、家具・クラフト用の乾燥原板を作ること、その特性を知った上で徐々に商品化を図って行きたいと考えており、皆さまにトドマツを知っていただく活動を行う一方、作り手に実物を見せ、新たな素材としてのトドマツ材の可能性を理解の輪を広げてもらうことにも取り組んでいます。10年後、トドマツを使った家具は当たり前前にも取り組んでいます。葉樹に比べて傷つきやすい、強度が低いなどの難しさはありますが、やさしい感触、あたたかい質感などの良さもあります。広葉樹と針葉樹、それぞれの良さを生かし、お客様の好みに応じた多様な商品展開ができるように努力し、同時にトドマツを育てる林業者、トドマツを扱う製材工場も、トドマツに自信を持って、より良い仕事ができるように努力を続けます。

発行/上川地域水平連携協議会

麻生木材工業(株)・(株)芦野組(株)いきみや
(株)カワムラ(株)斉藤工業所・下川町森林組合
三津橋農産(株)・(株)山田木工場
事務局:(一社)北海道林産技術普及協会

後 援/(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場
制作協力/(一社)北海道林産技術普及協会
旭川市工業センター
(株)北海道ポットラック

編 集/株式会社 ハギヤ
写 真/DIGITAL DESIGN WORD 加藤 亮、MAGNETIC イチノ 幸、
CHERRY W.A 佐々木育弥、旭川市中央図書館
文 章/藤原 恭子

丸の内ハウス

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル7階
営業時間11:00~翌4:00(日・祝・連休最終日~23:00)
info 丸の内コールセンター 03-5218-5100
(受付時間11:00~21:00 日・祝・連休最終日~20:00)
www.marunouchi-house.com
www.facebook.com/marunouchiHOUSE



Todo Fir

【トドマツ】



トドマツ(樹種)は、英語名ではTodo FirではなくTodo Firと表記するようにマツ科と属に分類される針葉樹です。

2015.10.5 MON - 10.11 SUN

丸の内北海道の樹トドマツに触れる 丸の内ハウス ライブラリー(新丸ビル7F)



北海道の森林に最も多く生育する「トドマツ」
そんな北の樹木に
触れる1週間。



上川地域水平連携協議会



写真 昭和三十二年のトドマツの伐採作業

北海道の木「トドマツ」

トドマツ(蝦松)は英語名ではTodo pineではなくTodo Firと表記するようにマツ科モミ属に分類される針葉樹です。昭和40年代、林業者たちは北海道の木材を全国で存分に使えるようにと一生懸命に植え、手入れをして育ててきました。その努力が実り、トドマツが成熟期を迎える。平成44年頃には、現在の2倍近い量のトドマツが北海道の森から木材として産出されます。北海道の木「トドマツ」の魅力を知っていただき暮らしの中に取り入れて愛していただくことが私たちの願いです。



昭和42年度の冬山産材風景

トドマツ・チェア A

背もたれと座面に北海道産トドマツの無垢材を使用しています。トドマツならではの柔らかい質感を感じる座り心地と軽さを感じられるトドマツチェアです。



北海道の雪をイメージさせる 白い木肌のトドマツ製品

新丸ビル7F
丸の内ハウスの
MUS MUSで
プロトタイプを
展示中!!

トドマツ・チェア B

座った時に体が触れる座面と背もたれにはトドマツを使用して、構造部分には使い広葉樹を使用した全て北海道の木で作られたチェアです。



トドマツ・フローリング材「夢来(むく)」

北海道産トドマツの大径材を製材した無垢材のフローリングです。トドマツ材は、他の樹種に比べ、柔らかく、床材などに使用した場合は、足音への負担が少なく、転倒時のケガが少ないことや、直接触れた際の体温伝導も他の木材より高いというデータも出ており、人の暮らしに優しい材質です。

トドマツ・テーブル

天板全てが北海道産のトドマツで製作されたテーブルは、白い木肌がお料理を際立たせます。トドマツならではの柔らかい質感をいかしながら、傷がつきやすい縁の部分には、最新の技術で加工されたトドマツの圧縮材を使用しており、傷がつきにくくなっています。



未来への取り組み 上川地域水平連携協議会
平成21年度の協議会設立以来、上川地域の主要樹種であるトドマツ材の利用促進に向けて取り組んできました。その間、「夢来」ブランドの構造材、フローリング、家具の製作を行いました。展示会での情報発信、木と暮らしの情報館での常設展示やホームムービー等で普及啓発を図っています。
今後、北海道及び上川地域ではトドマツの利用可能な資材量が増大します。今までの利用方法と合わせて新たな利用の可能性を探りながら、トドマツの良さを提案し続けます。

●本ページ掲載商品のお問い合わせは 〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号
(一社)北海道林産技術者及協会内
上川地域水平連携協議会 Tel (0166) 75-3553
mail: rghk@juno.ocn.ne.jp



facebook やっています。 上川地域水平連携協議会

※読み込みには QR コード読み込み用アプリが必要な場合があります。